

(1) 日本の教育制度

日本では、小学校6年間、中学校3年間は、義務教育（みんなが学校に行くこと）です。

義務教育の間は、お父さんやお母さんは、必ず子どもを学校に行かさないとはいけません。

義務教育の後、高等学校（3年間）や高等専門学校（5年間）、高等専修学校（1年間以上）などに行き、もっと勉強することもできます。

その後、専門学校（1年間以上）、短期大学（2年間）、大学（4年間）に行く人もいます。

大学を卒業した後、もっと勉強したい人は、大学院（2年間以上）に行きます。

日本の学校は、4月に始まります。そして、次の年の3月に終わります。

1年は、3つの学期に分かれています。

長い休みが、3回あります。

【日本の学校の学期】	
1学期	4月～7月
2学期	9月～12月
3学期	1月～3月

【日本の学校の休み】	
夏休み	7月の終わり～8月の終わり
冬休み	12月の終わり～1月のはじめ
春休み	3月の終わり～4月のはじめ

① 小学校・中学校

日本の子どもはみんな、小学校（6年間）と中学校（3年間）に行きます（義務教育）。

日本に住んでいる外国人の子どもも、行くことができます。

小学校・中学校に行く年齢

小学校：4月1日の時点で6歳の子ども（例：2019年4月2日から2020年4月1日までの間に、6歳の誕生日を迎え

た子どもは、2020年4月から小学校に行きます。）

中学校：4月1日の時点で12歳の子ども（例：2019年4月2日から2020年4月1日までの間に、12歳の誕生日を迎

えた子どもは、2020年4月から中学校に行きます。）

費用

公立の小学校・中学校は、授業料（学校で勉強するためのお金）と教科書代（授業で使う本のお金）は無料です。

学用品（教科書の他に学校で使う本や道具）のお金や給食（学校で食べるお昼ごはん）のお金、修学旅行（学校

で行く旅行）のお金は、自分で払います。

泉佐野市が、そのお金の一部を助けてくれる「就学援助制度」があります。

入学の手続き

<泉佐野市に住民登録（住民票）がある人>

子どもが、小学校・中学校に入る年齢になったら、9月頃に、泉佐野市役所から、入学の案内が届きます。

その中に、入学について詳しいことが書いてあります。必要な手続きをしてください。

4. 教育

10月頃までに、入学の案内が届かない人は、泉佐野市役所の「学校教育課」に聞いてください。

〈泉佐野市に引っ越して来た人〉

在留カードを持って、泉佐野市役所の市民課に行ってください。転入届と住民登録の手続きをします。

そして、学校教育課で、編入学（学期の途中で、新しい学校に入ること）の手続きをしてください。

★手続き・問い合わせ

学校教育課

電話番号 072-463-1212（内線2331～2335）

市民課

電話番号 072-463-1212（内線2111～2118）

子どもの日本語能力が十分でない場合

日本語の能力が十分でない子どもを、サポートしてくれる学校もあります。

詳しいことは、学校教育課に聞いてください。

★問い合わせ

学校教育課

電話番号 072-463-1212（内線2331～2335）

② 高等学校（高校）

ほとんどの日本人が、中学校を卒業した後、高校へ行きます。

しかし、高校は、義務教育ではありません。

高校に行きたい人は、入学試験を受けます。合格すれば、行くことができます。

高校に行く年齢

4月1日の時点で15歳の子ども（例：2019年4月2日から2020年4月1日までの間に、15歳の誕生日を迎えた子どもは、2020年4月から高校へ行きます。）

費用

国や大阪府が授業料を補助してくれる制度があります。

公立高校の場合、保護者（お父さんやお母さん）の所得が、年収約910万円未満であれば、授業料は無料です。

私立高校も、一部の場合を除いて、授業料が無料、または高いお金を払わずに私立高校に行くことができます。

詳しいことは、このガイドの「4.教育 (2) 就学援助」を見てください。

学科

日本の高校には、いくつかの種類があります。

いろいろな科目を広く勉強する普通高校や、専門的なことを勉強する商業高校、工業高校、高等専門学校、高等

専修学校などがあります。

③ 専門学校、短期大学、大学、大学院

専門学校は、学校によって、勉強する期間や、試験があるかどうか違います。

国公立大学に入るための試験は、2回あります。

まず、みんな、「センター試験」を受けます。その後、それぞれ大学の入学試験を受けます。（2021年1月からは、センター試験のかわりに、「大学入学共通テスト」という試験を受けます。）

私立大学と短期大学（短大）に入るための試験は、それぞれの大学・短大によって、試験する科目や試験の日が違います。

大学を卒業した後、もっと勉強したい人は、大学院に行きます。

☆参考サイト

大阪府「多言語による学校生活サポート情報」

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kikoku/index.html>